

祭

三年 11
 画数 クタ夕又祭
 筆順 サイ
 オン まつ川る川り
 フン



成り立ち

神さまにそなえるものをのせる台の形をあらわした「示(5733)」と、肉をあらわした「夕」と、手の形をあらわした「又」とを組み合わせて作った字で、「神さまに肉をそなえてまつる」ことをあらわした字です。

むかし、中国では、天の神さまに牛や羊の肉をそなえておまつりました。それで「祭」というのです。

お祭りにはぎやかに行われますので、「にぎやかな事」を「お祭りさわぎ」といいます。それで、今では「にぎやかなもよおしごと」のことを、「祭」というようになりました。例 体育祭、学園祭。

使い方

▽日本人は、お祭りが好きです。日本の全国各地で、たくさんのお祭りが行われます。中でも京都の三大祭りは有名です。

▽近所の神社で、お祭りがありました。子供みこしもでて、大そうにぎやかでした。

熟語例

▽祭典(お祭りのこと。また、大がかりで、にぎやかなもよおしごとのことをいいます。「スポーツの祭典、オリンピックが、四年に一度、世界各国で、もよおされる」などというふうに、つかいます。)

▽祭礼(お祭りの儀式。「明治神宮で、祭礼が、おごそかに行われた」などというふうに、つかいます。)

▽体育祭(体育会のこと。「秋の体育祭は、十月十日に行われる」などというふうに、つかいます。)

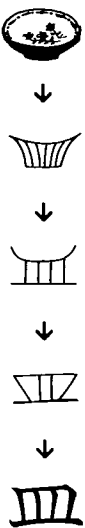
▽学園祭(学校で行う文化祭のこと。研究発表をした、模擬店を出したり、さまざまなおしをする、学校のお祭りです。)

▽冠婚葬祭(「冠」は、むかしの成人式。「婚」は、結婚式。「葬」は、お葬式。「祭」は、先祖のお祭り)

皿

三年 5
 画数 一 冂 冂 皿
 筆順 一 冂 冂 皿
 オン さら
 フン

成り立ち



食べものをもる「さら」の形をあらわした字です。「さら」といういみの字です。

食べものをもる「うつわ」なので、「皿(3293)」や「益(5658)」「盟(81001)」「盛(8931)」など、いろいろな字の下のぶぶんにつかわれています。

使い方

▽うちのお父さんはたばこが大好きです。だから、いつも灰皿がすいがらで一ぱいです。

▽きのう、きよくげいの皿回しを見ました。ぼくにもできそうなので、やってみましたが、皿がすぐにおちてしまつて、回すことができませんでした。

熟語例

▽灰皿(たばこの灰やすいがらを入れるためのうつわのこと。もとは「小皿」をりようしたので「皿」といいますが、今は「たばこせんよう」で、皿とはいえない形のものがあります。)

▽小皿(小がたの皿。)

▽銘銘皿(食べものを銘銘に取り分けるための小皿。取り皿ともいいます。)

▽受け皿(コップなどの下において、しずくを受けたり、あついコップにふれないですむようにするための皿のこと。)